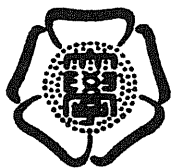


第144号



お茶の水女子大学学報

平成 4 年 1 月 1 日
お茶の水女子大学庶務課

目 次

◇関係法令	2	◇諸 報	19
◇学内規則	2	学長選挙について	19
お茶の水女子大学学部長選考規程の制定	2	学位記授与式について	20
お茶の水女子大学附属学校長		奨学金授与式について	20
選考規程の一部改正	3	永年勤続者表彰について	22
お茶の水女子大学理学部長候補者		教育者表彰について	22
選挙内規の制定	3	講演会の開催について	23
◇人 事	4	人事院規則9-80(扶養手当)の	
◇学 事	5	一部改正について	23
平成4年度お茶の水女子大学大学院		海外渡航	23
人間文化研究科学生募集要項	5	研 修	24
平成4年度お茶の水女子大学大学院		健康診断	26
理学研究科学生第2次募集要項	9	レクリエーション行事	26
平成4年度お茶の水女子大学私費外国人留学生		附属図書館オーディオコーナーの	
(学部留学生)募集要項(細目)	13	暫定開設について	27
科学研究費補助金交付決定について	19	◇日 誌	28

関係法令

【府 令】

- 放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律施行規則の一部を改正する総理府令
(総理府令第40号、11月15日官報)

【省 令】

- 学校教育法施行規則等の一部を改正する省令
(文部省令第45号、11月14日官報)

【告 示】

- 国家行政組織法の規定に基づき平成3年10月1日現在の国の行政機関の組織を告示
(総務庁第82号、11月8日官報)
- 放射性同位元素等の使用の場所の一時的変更の届出に係る使用の目的を指定する件
(科学技術庁第9号、11月15日官報)
- 教育及び訓練の時間数を定める告示の全部を改正する件 (科学技術庁第10号、11月15日官報)
- 変更の許可を要しない軽微な変更を定める件
(科学技術庁第11号、11月15日官報)
- 放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律施行規則第12条第2項に規定する工場又は事業所を定める件 (科学技術庁第12号、11月15日)

学内規則

○お茶の水女子大学規則第8号

お茶の水女子大学学部長選考規程を次のように定める。

平成3年11月27日

お茶の水女子大学長 河野 重男

お茶の水女子大学学部長選考規程

(選考機関)

第1条 お茶の水女子大学における学部長の選考は、教育公務員特例法(昭和24年法律第1号)第4条の規定により、当該学部の教授会の議に基づいて学長が行う。

(選考時期)

第2条 学部長の選考は、次の各号の一に該当する場合に行う。

- 一 学部長の任期が満了するとき。
- 二 学部長が辞任を申し出たとき。
- 三 学部長が欠けたとき。

2 学部長の選考は、前項第1号に該当する場合は、任期満了の30日前までに、同項第2号又は第3号に該当する場合は、すみやかに行う。

(選考範囲)

第3条 学部長は、当該学部の専任の教授のうちから選考する。

(選考方法)

第4条 学部長候補者を選定するため、教授会の構成員による選挙を行う。

2 選挙の方法は、当該学部の教授会の定めるところによる。

(報告)

第5条 学部長又はその代理者は、前条の規定により学部長候補者を選定したときは、選挙の記録を添えて学長に報告する。

(任期)

第6条 学部長の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、引き続き4年を超えて在任することはできない。

附 則

- 1 この規程は、平成3年11月27日から施行する。
- 2 お茶の水女子大学学部長候補者推薦内規(昭和26年5月2日制定)は、廃止する。

○お茶の水女子大学規則第9号

お茶の水女子大学附属学校長選考規程の一部を改正する規程を次のように定める。

平成3年11月27日

お茶の水女子大学長 河野 重男

お茶の水女子大学附属学校長選考規程の一部を改正する規程

お茶の水女子大学附属学校長選考規程（昭和33年1月10日制定）の一部を次のように改正する。

第6条第1項中「3年とする」を「3年とし、再任を妨げない」に改め、同項ただし書を次のように改める。

ただし、再任の場合の任期は1年とする。

同条第2項中「任期については」を「任期は」に、「末日をもって、満了するものとみなす」を「末日までとする」に改める。

附 則

この規程は、平成3年11月27日から施行する。

お茶の水女子大学理学部学部長候補者選考内規

（理 学 部 教 授 会）
平成3年11月20日

第1条 お茶の水女子大学学部長選考規程（平成 年 月 日制定）第4条に規定する学部長候補者を選定するための選挙（以下「選挙」という。）については、この内規の定めるところによる。

第2条 学部長（その代理者を含む。以下同じ。）は、少なくとも1週間前までに選挙の期日を予告する。

第3条 選挙権を有する者（以下「有権者」という。）は、本学部に所属する専任の教授、助教授及び講師とする。

2 選挙の定足数は、有権者の総数の4分の3以上とする。なお、定足数に満たない場合は、改めて選挙を行う。

第4条 選挙は、単記無記名による投票とし、有効投票数の過半数の得票者を当選者とする。

2 前項の投票の結果、有効投票数の過半数の得票者がいない場合は、得票数の合計が有効投票数の3分の2となる最少数の上位得票者を被選挙者として、第2次投票を行い、有効投票数の過半数の得票者を当選者とする。

3 第2次投票の結果、再度、有効投票数の過半数の得票者がいない場合は、得票順に上位2名（末位に

同点者があれば、年長者をとる。）を被選挙者として、第3次投票を行い、得票数の多い者を当選者とする。ただし、得票同数のときは、年長者を当選者とする。

第5条 投票を始めてから当選者が決定しない間に、得票者が被選挙者であることを辞退することはできない。

第6条 当選者が学部長候補者になることを辞退した場合は、改めて選挙を行う。

第7条 選挙管理に関する事務は、学部長の管理の下に学部事務部で行う。

2 投票及び開票は、あらかじめ教授会において選出された教授2名が立ち会って行う。ただし、第4条第2項に規定する被選挙者となった場合は、予備員と交替する。

第8条 この内規の改正、廃止又は運用については、その構成員の4分の3以上が出席した教授会において、その3分の2以上の賛否により決定する。

附 則

この内規は、お茶の水女子大学学部長選考規程の施行の日から施行する。

人 事

◎常勤職員

発令年月日	氏 名	異 動 内 容	異 動 区 分	異動前の所属・官職
3.10.25	中 村 俊 直	助教授（文教育学部）	昇 任	講師（文教育学部）
3.11. 1	内 山 典 子	文部事務官（庶務課）	採 用	
〃	小 西 由 子	文部事務官（庶務課）	昇 任	労働事務官（飯田橋公共職業安定所）
3.12.11	三 浦 徹	助教授（文教育学部）	〃	講師（文教育学部）
〃	杉 谷 隆	〃	〃	〃

◎非常勤職員

発令年月日	氏 名	異 動 内 容	期 間	備 考
3.10.31	鈴 木 はる奈	辞職承認		家政学部

◎非常勤講師

発令年月日	氏 名	異 動 内 容	期 間	備 考
3.10.18	築 島 史 恵	講師（文教育学部）	3.10.18～4. 3.31	
3.10.24	田 口 啓 子	〃	3.10.24～4. 3.31	
3.10.25	長 野 督	〃	3.10.25～4. 3.31	
3.11. 1	プロブチェンコ ・マツモト・ア ンヌマリアンヌ	講師（理学部）	3.11. 1～4. 3.31	
〃	菅 原 淳	〃	〃	国立環境研究所技官
〃	真 柴 晶 彦	講師（附属高等学校）	3.11. 1～3.12.31	東京都立南高等学校教諭
3.11.21	ブリッチャード ・ジェイムス	講師（附属中学校）	3.11.21～4. 3.31	
〃	〃	講師（附属高等学校）	〃	
3.12. 1	長 村 吉 洋	講師（理学部）	3.12. 1～4. 3.31	慶応義塾大学講師
〃	内 宮 博 文	〃	〃	東京大学教授

学 事

○平成4年度お茶の水女子大学大学院人間文化研究科（博士課程） 学 生 募 集 要 項

1. 専攻名及び募集定員

比較文化学専攻 16名
人間発達学専攻 10名
人間環境学専攻 9名

2. 修 業 年 限 3年

3. 出 願 資 格 下記に該当する女子とする。

- (1) 修士の学位を有する者（平成4年3月修士の学位を得る見込みの者を含む。）
- (2) 外国において、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (3) 本研究科において、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

4. 出 願 手 続

- (1) 入 学 願 書 用紙は本学で交付する。
- (2) 修士課程修了（見込）証明書
- (3) 修士論文要旨 1部、内容・形式は「7. 第二次試験手続(2)」を参照のこと。
- (4) 調 査 書 出身大学長又は研究科の長が作成したもの。用紙は本学で交付する。
- (5) 推 薦 書 指導教官ないしはそれに準ずる者が作成したもの。用紙は本学で交付する。
- (6) 健康診断書 保健所等公的医療機関で作成したもの。用紙は本学で交付する。
- (7) 受験許可書 在職中の者は所属長の、他の大学院に在学中の者（修了見込の者を除く。）は当該大学長が作成したもの。

上記の書類を一括し、入学検定料24,000円を添え出願期間内に本学に提出すること。やむを得ず郵送する場合は、検定料を郵便為替（受取人欄に「お茶の水女子大学」と明記すること。）とし、同封の上、書留速達郵便で送付すること。その場合、封筒に「人間文化研究科願書在中」と朱書きし、返信用封筒（定形郵便物封筒に宛先を明記し、272円切手貼付）を同封すること。

5. 出願期間・願書受付場所

- (1) 出 願 期 間 平成4年1月16日(休)から1月23日(休)まで。(ただし、土曜日・日曜日を除く。)
受付時間 午前9時～12時 午後1時～3時
郵送の場合は、締切日までの消印有効。
- (2) 願書受付場所 お茶の水女子大学大学院人間文化研究科棟1階事務室
〒112 東京都文京区大塚2丁目1番1号

6. 第 一 次 試 験

- (1) 選 考 期 日 平成4年2月3日(月)
- (2) 試 験 内 容 筆答試験（論文・言語）
- (3) 時 間 割

日 時	10:00～11:15	13:00～15:15
2月3日(月)	論 文	○言 語 （英語・独語・仏語・中国語・日本古典語） ○現代日本語（外国人留学生のみ） ○自然系論文

注1. 「論文」は人文・社会系と自然系にわかれているので、いずれかを選択すること。

注2. 午後の試験については下記のいずれかの方法により試験場で選択すること。

ア) 「言語」の中から2科目を選択

イ) 「言語」の中から1科目選択及び「自然系論文」

ウ) 外国人留学生は「言語」の中の1科目に代えて「現代日本語」を選択することができる。従って「現代日本語」と「自然系論文」あるいは「現代日本語」と「言語」を組み合わせることもできる。

エ) 外国人留学生で自然科学に重点をおいた研究を希望する者は「言語」のなかから「英語」を選ぶこと。従って、「英語」と「言語」のなかの他の1科目、「英語」と「現代日本語」、あるいは「英語」と「自然系論文」を組み合わせることができる。

注3. 「言語」及び「現代日本語」試験について

ア) 英語・独語・仏語・中国語・現代日本語については、辞書の使用を認める。

イ) 日本古典語は、古文・日本漢文・古文書とし、3種目の中から2種目を試験場で選択すること。

なお、外国人留学生については、古語辞典・漢和辞典の類の使用を認める。

ウ) 現代日本語の試験は、和文を外国語(英語・独語・仏語・中国語のいずれかの言語を選択)に訳す。

注4. 「自然系論文」試験について

ア) 数理・物質系と環境・生物系にわかれているので、いずれかを選択すること。

(4) 試験場所 お茶の水女子大学人間文化研究科棟

(5) 第一次合格発表 平成4年2月7日(金)正午、人間文化研究科棟1階公示板に掲示する。

7. 第二次試験手続

第一次試験合格者は、2月12日(水)午前9時から午後5時までに、人間文化研究科棟1階事務室に次の書類を提出すること。

(1) 修士論文 2部

ただし、修士論文以外に別主題について発表した論文があり、その論文を主論文とすることを希望するときは、その旨を明記し、添付すること。また、修士論文提出後の研究により修士論文を補足する研究成果のある場合には、その論文を添付することができる。

なお、修士論文をもたない場合は、これに代わるものを提出すること。

(いずれの場合も、2部提出すること)

提出論文は、試験終了時に返却する。

(2) 上記論文(主論文)の要旨 6部

2,000字以内、横書き、B4版用紙2枚(図表を含む。)におさめること。

(3) 研究計画書 6部

1,000字前後、横書き、B4版用紙1枚におさめること。

注。(2)及び(3)は、(2)、(3)の順に1組ずつ左肩をホッチキス止めし、6部をクリップでまとめること。

8. 第二次試験

(1) 選考期日 平成4年3月4日(水)～平成4年3月7日(土)のうち本学で指定する日時

(2) 試験内容 口述試験(主論文及び研究計画)

(3) 試験場所 お茶の水女子大学人間文化研究科棟

9. 合格者発表 平成4年3月12日(水)正午

発表は、人間文化研究科棟1階公示板に合格者氏名を掲示するとともに、本人あてに合格通知書を郵送する。

10. 入学料及び授業料

入学料 230,000円

授業料(年額) 375,600円(前期 187,800円 後期 187,800円)

11. 注意事項

(1) 同一年度に、2専攻に出願することはできない。

(2) 出願手続き後は、いかなる事情があっても、書類の変更及び検定料の払い戻しの要求には応じない。

(3) 出願について、不明な点がある場合には、庶務課大学院係に問い合わせられたい。

なお、外国人留学生の出願は、学務課留学生係が窓口となり、この要項によらない事項があるので注意すること。

(4) 合格・不合格に関する郵便・電信・電話等による問い合わせには一切応じない。

○平成4年度お茶の水女子大学大学院人間文化研究科（博士課程）概要

1. 目 的

本学の博士課程は、女性研究者が専門諸分野の基盤に立つ高度の学際的総合研究を行うに必要な創造的能力を育成し、もって、学術水準の向上に寄与することを目的とする。

2. 修 業 年 限 3年（本学の博士課程は、修士課程とは独立の課程である。）

3. 専攻及び入学定員

専 攻 名	比較文化学専攻	人間発達学専攻	人間環境学専攻	計
入 学 定 員	16	10	9	35

4. 履修方法及び課程の修了

学生は、3年以上在学し、それぞれ専攻で定めた授業科目について所定の単位を修得し、かつ、学位論文審査並びに最終試験に合格しなければならない。

5. 各専攻及び博士講座の要旨

専 攻 名	講 座 名	要 旨
比 較 文 化 学 専 攻	文化構造論	文化構造の基礎理論と比較の原理・原論の探求を行うとともに、東洋文化と西洋文化それぞれの要素特質を究明して東西文化の対比対照的考察・交流・交渉関係の解明を行う。具体的実証的東西比較研究と並行して文化一般の構造・機能の本質に迫り、比較文化理論の樹立を目指す。
	日本文化論	日本文学を中心とする日本文化の歴史的・思想的・社会的展開を解明する。すなわち、まず文学を対象とする研究領域から、歴史・思想・社会・人間関係などの各研究領域を併せて総合的に、日本文化の基本的探究を指向する。
	言語文化論	言語による文化—諸国語の文学を、その言語表現に留意しつつ比較対照し、あるいは、その相互影響の跡をたどって、より大きいパースペクティブの中での文学理解を目指す。また、言語の比較対照によって各国語の特質を究明する。
	比較芸術論	芸術の諸分野における歴史的、地域的比較を行うとともに、各分野相互の比較を、単に現象面のみならず、精神面、機能面からも有機的に行い、芸術的創造ないし表現の本質を究明することを目的とする。
	比較社会構造論	東洋・西洋の各地域の文化を社会構造の面からとらえる。すなわち、社会構造、その変動過程、あるいは諸社会の接触交流について、歴史学・地理学・文化人類学など諸科学の視角から具体的にとらえるとともに、これを総合的に比較研究し、さらにこれに基づいて日本の社会構造及び文化構造の基本的性格を解明する。
	科学文化論	比較文化学の一環として科学基礎論並びに科学史の研究を行うとともに、人間文化の諸領域に内在する数理的構造を数学的、情報科学的に研究し、個別文化をつらぬく普遍的な文化構造の解明を目指す。
人 間 発 達 学 専 攻	発達基礎論	種としての人間発達の特徴を明らかにするために、個体発生・系統発生上の比較考察から出発して、胎児期より老年期に至るまでの発達過程、各発達段階の特性、発達要因などの解明を目指すとともに、歴史的・人間学的考察にたつて総合的な発達目標の検討を行う。
	発達過程論	生涯にわたる人間発達の過程を、保育・教育・臨床等の実践との関連のもとに研究を行う。心理治療、保育の理論、診断、治療、実践の技法、家庭・集団・文化と人間発達との関連の諸問題を含む。
	発達環境論	人間発達と社会環境との関連を歴史的・地域的・国際的比較研究によって解明し、発達の各時期に対応する発達課題と教育課題を探究する。人間発達に影響を及ぼす意図的制度的な教育機関、内容及び非制度的な教育機会について、全体的、体系的に研究し、発達の機会を保障していく理論と方法の確立を目指す。

専攻名	講座名	要旨
人間環境学専攻	人間生態論	人間と自然環境との関係を、生物としての人間の面からと、環境の側からとの二つの研究方向からとらえる。それらの相互の関係の対比と関連とを総合化することによって、新しい人間生態学の基礎をつくりあげ、人類の生存のための最適環境を究明する。
	生活環境論	人間と生活環境との関係を、生活それ自身のあり方と生活より派生する諸問題の解決に焦点をおき、生活物資、素材の基本的条件の検討から生活を目的とする環境の最適状態及び諸条件を解明する。
	環境基礎論	人間をとりまく自然環境の構造及びそこに発生する諸現象の精密な研究を行い、それによって自然の本質を究明し環境学の基礎理論の確立に寄与する。

6. 担当専任教官

専攻名	講座名	担当指導教官	専攻名	講座名	担当指導教官
比較文化学専攻	文化構造論	教授 宮島 喬	人間発達学専攻	発達基礎論	教授 土屋 賢二
		" 吉田 夏彦			" 原 野 ひろ子
		" 佐藤 保信			" 春日 道 浩
		" 中尾 幸雄		" 森 下 はるみ	
		" 田中 真砂子		教授 水野 悌一	
	日本文化論	教授 三木 紀人		発達過程論	" 水本 田和子
		" 浅井 清		" 森 田 明子	
言語文化論	" 大井 勇次郎	発達環境論	助教授 内田 伸子		
	" 水谷 信子		助教授 鷹野 光行		
	助教授 平野 由紀子		教授 森川 隆夫		
	比較芸術論	教授 宮川 幸久	" 小湯 川 剛彦		
		" 海老根 静江	" 加賀 秀 夫		
" 杉本 正哉		助教授 宮原 修			
" 白藤 禮幸		教授 富田 守 碩			
比較社会構造論	" 酒野 秀勝	人間生態論	" 清水 山 碩益		
	教授 辻 佐保子	" 内馬 善兵衛			
	" 板倉 壽郎	" 馬場 昭 次			
	" 徳丸 吉彦	生活環境論	教授 小林 彰夫		
	" 小池 三枝子		" 中島 利 誠		
	助教授 藤山 和子		" 島田 淳 子		
	教授 窪添 慶文		" 前田 川 信彦		
" 石川 宏昇	" 荒本 間 清一				
" 井内 秀行	" 倉田 忠 男				
科学文化論	教授 小川 洋輔	環境基礎論	" 五十嵐 小 昭二郎		
	" 渡辺 敏子	教授 富田 功 翠			
	" 細矢 治徳	" 伊藤 厚 子			
	" 富永 靖徳	" 藤原 正 彦			
	" 石和 貞男	" 柴田 文 明			
		助教授 福田 豊 武			

○平成4年度お茶の水女子大学大学院理学研究科修士課程
学生第2次募集要項

1. 出願資格 下記該当の女子とする。

- (1) 大学を卒業した者及び平成4年3月卒業見込みの者
- (2) 文部大臣の指定した者
- (3) 外国の大学を卒業した者
- (4) 大学3年生で、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本学大学院が認めた者。この件については数学専攻・物理学専攻・生物学専攻で行う。
- (5) 大学を卒業した者と同等以上の学力があると本学大学院が認めた者

2. 選抜方法

- (1) 入学の選抜は、学力検査（筆記試験・口述試験）、調査書等を総合して決定する。
- (2) 外国人学生の選抜は、本学大学院外国人学生規程による。

3. 募集人員及び学力検査

専攻名	募集人員	試験日時	試験科目
数 学	若干名	2月4日(火) 9:20~10:50 11:00~12:30 13:30~15:30 16:30~	一般・基礎教育科目(微積分・線形代数・位相空間) 外国語(英・独・仏・露のうちから2カ国語を選択) ¹⁾ 専門科目(数学) 口述試験
物理学	若干名	2月4日(火) 9:20~10:50 11:00~12:30 13:30~15:30 16:30~	一般・基礎教育科目(物理学) 外国語(英語) ²⁾ 専門科目(物理学) 口述試験
生物学	若干名	2月4日(火) 10:00~12:00 13:00~16:00 16:30~	外国語(英語) ²⁾ 専門科目(生物学の諸分野から出題した約12問から4問を選択) 口述試験

- 1) 英語以外の1カ国語について辞書の使用を認める。
- 2) 辞書の使用は認めない。

4. 出願期間

平成4年1月14日(火)から1月17日(金)まで。

なお、郵送する場合は、必ず書留で「大学院理学研究科入学願書」と朱書すること。
(1月17日消印有効)

5. 出願手続

(1) 願書受付

ア 場 所 お茶の水女子大学理学部事務部
〒112 東京都文京区大塚2丁目1番1号
電話：東京(03)3943-3151 (大代表)

イ 時 間 午前9時から午後3時まで

(2) 提出書類等

ア 志願者名票、受験票及び履歴書(本学所定の用紙)

イ 卒業(又は見込)証明書

ウ 健康診断書(本学所定の用紙)

エ 調査書(本学所定の用紙)

オ 検定料24,000円 現金又は郵便為替

カ 受験承諾書 在職者及び他の大学の大学院在籍者は、所属長の承諾書を提出すること。(様式随意)

キ 返信用封筒 郵送の場合に限り、あて先を明記して、62円切手を貼った定型郵便物
用封筒を同封すること。

6. 合格者の発表

(1) 2月13日(木)正午の予定。理学部1号館内掲示板に掲示するとともに、合格通知書を送付する。

(2) 入学手続関係書類は、平成4年3月中旬に送付する。

7. 修了の条件及び学費

(1) 修業年限は2年以上とする。

(2) 総計30単位以上修得すること。

(3) 課程の修了には前2項のほか、学位論文を提出して最終試験に合格することを必要とする。

(4) 入学金230,000円、授業料年額375,600円

8. その他

(1) 出願後、書類の変更や検定料の払い戻しは行わない。

(2) 出願書類等の請求は、あて先を明記し、72円切手を貼った定型郵便物用封筒(23.5cm×12cm)を同封すること。

(3) 受験に関する問い合わせは、往復はがきによるか、返信用封筒(切手貼付)を同封し、必ず返信先を明記すること。

9. 大学所在地案内

都営バス 大塚2丁目停留所前

地下鉄 丸の内線 茗荷谷駅から徒歩 約5分

地下鉄 有楽町線 護国寺駅(音羽口)から徒歩 約5分

○平成4年度お茶の水女子大学大学院理学研究科（修士課程）
各専攻課程の研究概要

1. 数学専攻課程

志望区分	担当教官	主な研究分野
数 A (解析学)	教授 澤島 侑子 教授 高村 幸男 教授 渡辺ヒサ子 助教授 前田ミチエ 助教授 竹尾富貴子 助教授 真島 秀行	関数解析と実解析 関数解析と偏微分方程式 ポテンシャル論 測度論 作用素論 微分方程式論
数 B (代数学)	教授 小山 敏子 教授 藤原 正彦	群論 数論
数 C (幾何学)	教授 小川 洋輔 助教授 塚田 和美 ※ 講師 小野 薫	微分幾何 微分幾何 微分幾何及び位相幾何

※ 本年度は、研究指導は行わない。

2. 物理学専攻課程

	担当教官	主な研究分野
理 論	教授 伊藤 敬 教授 柴田 文明 教授 佐藤 浩史 助教授 太田 隆夫 助教授 菅本 晶夫 講師 亀井 理	原子・分子理論 統計力学，不可逆過程の理論 原子・分子の衝突の理論，計算物理学 物性理論，非平衡開放系の理論 素粒子論 物理学史
実 験	教授 田中 翠 教授 伊藤 厚子 教授 富永 靖徳 助教授 浜谷 望	磁性体の構造と相転移(メスバウア分光・磁化測定) ランダム磁性体の静的・動的構造及び相転移 誘電体・生体物質のラマン分光と誘電分散 極端条件下の物質構造と相転移

3. 生物学専攻課程

担 当 教 官	主 な 研 究 分 野
教授 新関 滋也 [※]	高等植物の生殖生理
教授 能村 堆子	細胞運動機構
教授 清水 碩	植物の老化、クロロフィルの代謝
教授 遠山 益	光合成器官の形態形成、細胞組織培養法の開発
教授 石和 貞男	ショウジョウバエを主とした進化・集団遺伝学
教授 馬場 昭次	繊毛運動の生理学
助教授 山下 貴司	単子葉植物の発生と系統
助教授 林 正男	高等動物の生化学・細胞生物学、フィブロネクチン、ビトロネクチン
助教授 渡辺 洋子	海綿動物を主とした発生及び系統
助教授 芦原 坦	高等植物の代謝制御機構の解析
助教授 根本 心一 (臨海実験所)	棘皮動物を主とした発生機構
教授 内嶋善兵衛 (環境科学)	気象・気候環境の変化と植物生産

※ 本年度は、研究指導は行わない。

○平成4年度お茶の水女子大学私費外国人留学生（学部留学生）募集要項（細目）

1. 募集学部・学科・人員

学 部	学 科	募 集 人 員
文 教 育 学 部	哲学科、史学科、地理学科、国文学科、外国文学科 （中国文学・中国語学）、教育学科（教育学、心理学）、 舞踊教育学科（舞踊教育学、音楽教育学）	各学部・学科 とも若干名
理 学 部	数学科、物理学科、化学科、生物学科、情報科学科	
家 政 学 部	児童学科、食物学科、被服学科、家庭経営学科	

2. 出願資格

下記に該当する外国人女子で、平成3年度日本語能力試験（1級）及び平成4年度私費外国人留学生統一試験を受験した者

○外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部大臣の指定した者。なお、日本において高等学校を卒業又は同等以上の資格を得た者は、日本人学生と同様に取扱う。

○私費外国人留学生統一試験で受験を要する科目等

学 部	学 科	受 験 を 要 す る 科 目	受 験 を 要 す る 科 目 数
文 教 育 学 部	全 学 科	文科系又は理科系のいずれかを選択	全 科 目
理 学 部	全 学 科	理 科 系	全 科 目
家 政 学 部	児 童 学 科	文科系又は理科系のいずれかを選択	全 科 目
	食 物 学 科	理 科 系	全 科 目
	被 服 学 科	文科系又は理科系のいずれかを選択	全 科 目
	家 庭 経 営 学 科	文科系又は理科系のいずれかを選択	全 科 目

3. 出願手続

(1) 出願書類等

- ア. 出願カード（本学所定の用紙を用い、写真貼付のこと。）
- イ. 最終出身校の成績証明書、卒業証明書及び関係教官の推薦書
- ウ. 日本語による自筆の作文（1,000字以内で、留学の目的、専攻分野の内容、将来の計画等について。）
- エ. 平成3年度日本語能力試験（1級）及び平成4年度私費外国人留学生統一試験の受験票の写し
- オ. 健康診断書（本学所定の用紙を用い、出願3ヵ月以内に作成したもの。）
- カ. 外国人登録済証明書……………日本国に居住している者は提出すること。
- キ. 検定料 14,000円
- ク. 受験票返送用封筒（本学所定の封筒に272円切手を貼付し志願者の住所氏名及び郵便番号を記入すること。なお、海外に返送希望の者は国際返信切手券と封筒を用意すること。）

(2) 出願期間

平成3年(1991年)12月16日(月)～12月25日(水)

〔受付時間〕平日 10時～11時30分、13時～16時

土曜日 10時～11時30分

(3) 出願要領

ア. 出願方法 …………… 入学志願者(代理人でも差し支えない。)は、出願期間内に前記(1)の出願書類等を持参のうえ提出すること。

イ. 出願先 …………… 東京都文京区大塚2丁目1番1号

お茶の水女子大学 学務課留学生係

〔地下鉄丸ノ内線 茗荷谷駅下車 徒歩5分〕
〔地下鉄有楽町線 護国寺駅下車 徒歩5分〕

4. 選抜方法

志願者全員に本学の入学試験を課し、その結果と私費外国人留学生統一試験及び日本語能力試験(1級)の成績、最終出身校の成績証明書並びに健康診断書等により総合して合格者を判定する。

(1) 入学試験

① 学力検査

志願する学部・学科		学 力 検 査 科 目
文 教 育 学 部	国 文 学 科	国語(国語Ⅰ・Ⅱ、古典) 日本語 外国語(英語Ⅰ・Ⅱ・ⅡB、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)
	舞踊教育学科 (舞踊教育学)	日本語 外国語(英語Ⅰ・Ⅱ・ⅡB、ドイツ語、フランス語から1か国語選択) ※ 上記学力検査のほかに、体育実技検査を行う。
	舞踊教育学科 (音楽教育学)	日本語 外国語(英語Ⅰ・Ⅱ・ⅡB、ドイツ語、フランス語から1か国語選択) ※ 上記学力検査のほかに、音楽実技検査を行う。
	その他の学科	日本語 外国語(英語Ⅰ・Ⅱ・ⅡB、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)

志願する学部・学科		学 力 検 査 科 目
理	数 学 科	数学（数学Ⅰ、代数・幾何、基礎解析、微分・積分、確率・統計*） 日本語 外国語（英語Ⅰ・Ⅱ・ⅡB、ドイツ語、フランス語から1か国語選択）
	物 理 学 科	数学（数学Ⅰ、代数・幾何、基礎解析、微分・積分、確率・統計*） 理科（物理） 日本語 外国語（英語Ⅰ・Ⅱ・ⅡB、ドイツ語、フランス語から1か国語選択）
学	化 学 科	数学（数学Ⅰ、代数・幾何、基礎解析、確率・統計*） 理科（「化学」と「物理、生物から1科目選択」） 日本語 外国語（英語Ⅰ・Ⅱ・ⅡB、ドイツ語、フランス語から1か国語選択）
	生 物 学 科	数学（数学Ⅰ、代数・幾何、基礎解析、確率・統計*） 理科（「生物」と「物理、化学から1科目選択」） 日本語 外国語（英語Ⅰ・Ⅱ・ⅡB、ドイツ語、フランス語から1か国語選択）
部	情 報 学 科 科	数学（数学Ⅰ、代数・幾何、基礎解析、微分・積分、確率・統計*） 理科（物理、化学、生物から1科目選択） 日本語 外国語（英語Ⅰ・Ⅱ・ⅡB、ドイツ語、フランス語から1か国語選択）
家 政 学 部	児 童 学 科	日本語
	家 庭 経 営 学 科	外国語（英語Ⅰ・Ⅱ・ⅡB、ドイツ語、フランス語から1か国語選択）
	食 物 学 科 被 服 学 科	数学（数学Ⅰ、代数・幾何、基礎解析、確率・統計*） 日本語 外国語（英語Ⅰ・Ⅱ・ⅡB、ドイツ語、フランス語から1か国語選択）

* 数学のうち確率・統計については、高等学校学習指導要領中の確率・統計の内容のうち「(1)資料の整理」、「(4)確率分布」及び「(5)統計的な推測」を除く。

② 実技検査

○ 舞踊教育学志望者に次の2種の検査を行う。

① ダンス（全員に課する）…………… 与えられた基礎運動及び創作

なお、希望者はこのほかに各種舞踊を加えてもよい。

② スポーツ（次のア～オから、1種目を選択）

ア. 陸上競技（短距離走）

イ. 器械運動（マット運動）

ウ. バレーボール

エ. バスケットボール

オ. テニス（硬式又は軟式）

※ 本学所定の実技関係の調査用紙「そのⅠ実技検査の選択科目に関する調査」及び「そのⅡ舞踊と体育活動に関する調査」を本人が記入し出願書類と一緒に提出すること。

○ 音楽教育学志望者に次の検査を行う。

① ソルフェージュ

ア. 聴音：1～4声部

イ. 新曲視唱

② 声 楽

下記の i、ii、iiiのいずれか一つを選び、暗譜で演奏すること。

i. イタリア古典歌曲（原語）1曲を自由選択

ii. イタリア古典歌曲（原語）1曲（i. に同じ）、及び日本歌曲1曲をそれぞれ自由選択

iii. イタリア古典歌曲（原語）1曲（i. に同じ）、及びアリア（原語・原調）1曲を自由選択

なお、声楽は伴奏用楽譜を必要とするので、受験者は必ず楽譜（複写譜も可）に氏名を明記して出願書類と一緒に提出すること（返却しない）。

③ ピ ア ノ

下記の i、ii、iiiのいずれか一つを選び、暗譜で演奏すること。繰返しはしないこと。

i. J. S. バッハ作曲の鍵盤音楽（3分以内）から1曲を自由選択

ii. J. S. バッハの作品1曲（i. に同じ）、及びベートーヴェンのピアノソナタから一つの楽章を自由選択（ただし、緩徐楽章を除く）

iii. J. S. バッハの作品1曲（i. に同じ）、及びショパンの練習曲集（作品10、作品25）から2曲を自由選択

③ 口述試験

各学部とも口述試験を行う。

5. 試験日程

- (1) 期 日 平成4年(1992年)2月25日(火)、26日(水)
 (2) 試験場 お茶の水女子大学(東京都文京区大塚2丁目1番1号)
 (3) 入学試験日時割

学科		日時		2月25日(火)		2月26日(水)				
文 教 育 学 部	国文学科	国語	10:00 ~ 11:40	/		日本語	外国語	口述試験	/	
	舞踊教育学科 (舞踊教育学)									体育実技
	舞踊教育学科 (音楽教育学)									音楽実技
	上記以外の学科									
理 学 部	数学科	数学	13:10 ~ 15:10	10:00	13:10	15:20 ~	/			
	物理学科	数学・物理	13:10 ~ 16:10	11:40	14:50					
	化学科	数 学	化学・選択(物理・生物) 13:10 ~ 16:10							
	生物学科		生物・選択(物理・化学) 13:10 ~ 16:10							
	情報科学科		数学・選択(物理・化学・ 生物) 13:10 ~ 16:10							
家 政 学 部	児童学科 家庭経営学科	/		10:00 ~ 11:40						
	食物学科								数 学	
	被服学科								10:00 ~ 11:40	

* 受験上の注意等については、受験票送付の際に同封する。

6. 合格発表

平成4年(1992年)3月11日(水)12時頃 学内本部棟前掲示板に発表する。

合格者(合格者の代理人でも差し支えない。)には、発表当日、合格通知書及び入学の関係書類を本学の入学試験の受験票と引き替えに交付する。ただし、16時までに受領しない者については、郵送する。

7. 入学手続等

(1) 入学手続

①手続期間

平成4年(1992年)3月16日(月)10:00~12:00, 13:00~16:00

17日(火)10:00~12:00, 13:00~16:00

ただし、都合により上記日時に手続が行えなかった者は、3月27日(金)10時~17時に手続を行うこと。
3月27日までに手続をしない者は、入学を辞退した者として取り扱う。

②手続場所 本学一般教育2号館

(2) 手続事項

①入学料 230,000円

②授業料 前期分 187,800円
(年額 375,600円)

(注1) 前期分の授業料を上記手続期間中に納入しないときは、4月1日から4月30日までの間に納入することになる。

(注2) 入学手続終了者が3月31日までに入学を辞退した場合には、納付した者の申出により当該授業料相当額を返還する。

(注3) 授業料の納付については、希望により前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することができる。

* 詳しいことは合格発表当日渡す書類で通知する。

8. 注意事項

- (1) 提出書類に不備不足等がある場合は提出書類を受理しない。
- (2) いったん提出し、又は納入した書類・入学検定料は、返還しない。
- (3) 合否に関するの電話による問い合わせには応じない。

9. 受験に関する問い合わせ先

〒112 東京都文京区大塚2丁目1番1号

お茶の水女子大学 学務課留学生係

☎ 03-3943-3151 内線 253

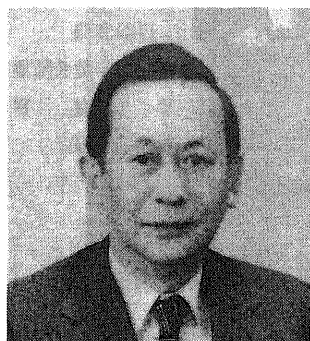
○平成3年度科学研究費補助金配分決定について（追加）

種 目	研究代表者 所属・職	氏 名	決定額 (千円)	研 究 課 題
一般研究C	家政学部教授	本 間 清 一	1,700	魚醬と穀醬の色素成分にもとづく比較研究
〃	理学部講師	小 山 敏 子	1,500	情報科学教育に向けた離散数学の構築

諸 報

○学 長 選 挙

次期学長に太田次郎名誉教授選出される



河野重男学長の任期満了（平成4年2月15日）に伴う学長選挙は、11月20日（水）の第一次選挙で選出された10名について、12月4日（水）第2次選挙が行われ、太田次郎名誉教授が選出された。

12月5日（木）に開催された臨時の評議会において、同氏が学長候補者に決まった。

任期は、平成4年2月16日から3年間。

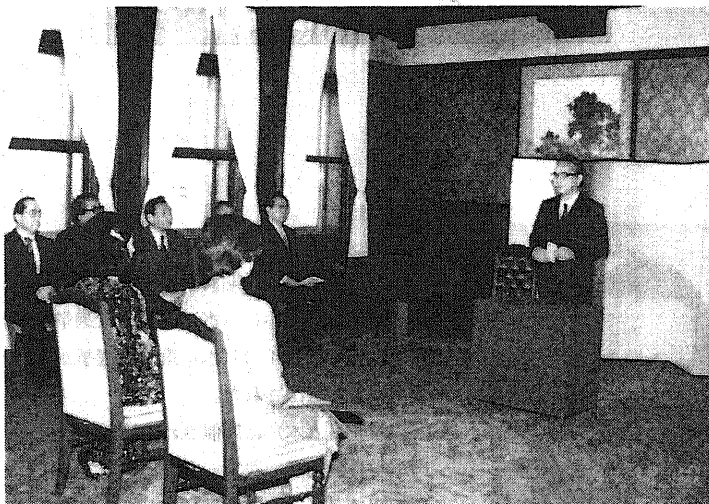
〔略 歴〕

昭和23年3月	東京大学理学部植物学科卒業
昭和27年5月	お茶の水女子大学 理学部 講師
昭和29年3月	〃 〃 助教授
昭和44年7月	〃 〃 教授
昭和46年1月	〃 学生部長 (～48.12.)
昭和51年2月	〃 附属図書館長 (～55.2.)
昭和51年2月	〃 女性文化資料館長 (～55.2.)
昭和57年4月	〃 理学部長 (～59.4.)
昭和60年4月	〃 人間文化研究科長 (～3.3.)
平成3年3月	〃 停年退職
平成3年4月	〃 名誉教授
(学位) 理学博士	(専門分野) 細胞生物学

○学位記授与式について

学位記授与式が、12月10日(火) 大学会議室(家政学部本館2階)において行われ、下記の者に学術博士の学位が授与された。

- 博乙第24号 武石 みどり
論文題目 ヨハン・バプティスト・シェンクのジグシュピール
—資料及び音楽様式の研究—
- 博乙第25号 佐々木 恵子
論文題目 膨化調理における内部気孔構造の形成に関する研究



(学位記授与式)

○奨学金授与式について

平成3年度奨学金授与式が11月19日(火) 大学会議室(家政学部本館2階)で行われた。

奨学金受賞者

○保井・黒田奨学金受賞者(2名)

第45号 吉田 みどり
研究題目 「酸性雨による植物障害の発現機構の解明に関する研究」

第46号 浅本 紀子
研究題目 「ワークステーション上の編集系の研究」

○被服学奨学金受賞者(1名)

第49号 潮田 ひとみ
研究題目 「衣服内環境の人体に及ぼす影響」

○食物学奨学金受奨者（2名）

第45号 香西みどり

研究題目 「加熱調理に関する基礎的研究」

第46号 矢野素子

研究題目 「食品の品質に関与する成分の化学的研究」

○家庭経営学奨学金受奨者（1名）

第34号 綿引伴子

研究題目 「家族関係と家庭科教育についての研究」

○人間文化研究科奨学金受奨者（1名）

第12号 佐々木恵子

研究題目 「膨化調理における内部気孔構造の形成に関する研究」

○池田摩耶子記念奨学金受奨者（3名）

第17号 王 頎

研究題目 「戦後社会科教育方法史研究—問題解決学習と系統学習について—」

第18号 高 美 英

研究題目 「眼球運動における視点の位置効果と短期記憶との関連」

第19号 張 徳 珠

研究題目 「アスコルビン酸脂肪酸エステル of 生理効果」

○池田重記念奨学金受奨者（1名）

第2号 崔 聖 心

研究題目 「衣服の熱・水分移動に及ぼす毛羽の影響」



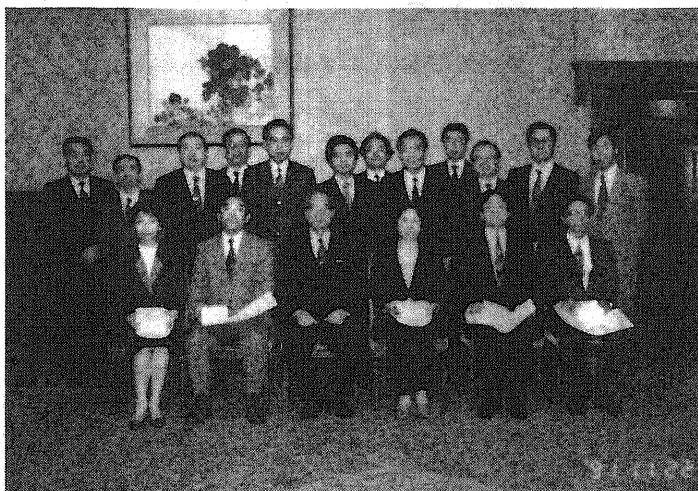
(奨学金授与式)

○永年勤続者表彰について

平成3年度永年勤続者表彰式が平成3年11月22日大学会議室で行われ、被表彰者には、表彰状並びに記念品が授与されました。

被表彰者は次のとおりです。

文 教 育 学 部	森 下 はるみ
”	片 岡 康 子
”	石 黒 節 子
理 学 部	根 本 心 一
”	西 川 恵 子
附 属 高 等 学 校	早 崎 捷 治
会 計 課	加 藤 久 雄
施 設 課	浅 田 常 明



○平成3年度教育者表彰について

平成3年度教育者表彰で附属幼稚園 村石 京教頭が平成3年11月28日表彰されました。

○講演会の開催について

平成3年11月16日(水)午後1時30分より、附属図書館視聴覚室に於て、文教育学部国文学科教授 堤精二氏による「本について」と題して講演会が行われた。



○人事院規則9-80(扶養手当)の一部改正について

被扶養者の所得限度額が年額110万円以下となっていました。この度の改正で、平成4年1月1日よりその限度額が年額120万円以下となりました。

なお、新たに改正後の要件を満たす扶養親族を有する方は庶務課人事係で手続きをして下さい。

○海外渡航

所属・職名	氏名	渡航先国	渡航目的	期間	渡航種目
家政学部・講師	村田容常	アメリカ合衆国 連合王国・ドイツ連邦	耐熱性孢子に関する研究及び資料収集	2.12.15～ 3.10.14	外国出張
文教育学部 ・教授	辻佐保子	ドイツ連邦共和国 フランス共和国	国際キリスト教考古学会出席及び資料収集	3.9.21～ 3.10.21	海外研修
家政学部・教授	板倉壽郎	アメリカ合衆国 フランス共和国	環境と芸術に関する研究及び資料収集	3.9.1～ 3.10.31	外国出張
理学部・助教授	真島秀行	フランス共和国	日仏科学セミナー(特異摂動の代数解析)出席及び研究連絡のため	3.10.19～ 3.11.1	外国出張
文教育学部 ・教授	徳丸吉彦	ミャンマー	民族音楽学研究	3.11.7～ 3.11.18	海外研修
文教育学部 ・教授	片岡康子	アメリカ合衆国 連合王国 フランス共和国	舞踊教育における教材体系の比較研究	3.10.1～ 3.11.30	外国出張

所属・職名	氏名	渡航先国	渡航目的	期間	渡航種目
文教育学部 ・助教授	石口章	アメリカ合衆国	「視覚情報処理の初期過程」の研究のため	3.2.15～ 3.12.8	外国出張
家政学部 ・助教授	久保田紀久枝	ドイツ連邦共和国 フランス共和国 スイス連邦	植物の香りの発現・放散のメカニズムとその生理機能の解明に関する研究	3.11.10～ 3.12.8	外国出張
文教育学部 ・教授	徳丸吉彦	アメリカ合衆国	カリフォルニア大学で音楽学に関する研究打合せ及び講演	3.12.5～ 3.12.10	海外研修
人間文化研究科 ・助手	相庭洋子	フィリピン	ASPBAE(アジア南太平洋成人教育協議会)総会に出席するため	3.12.8～ 3.12.15	海外研修
文教育学部 ・教授	森下はるみ	オーストラリア	国際バイオメカニクス学会出席	3.12.8～ 3.12.16	海外研修

○研 修

名 称	実施日時	対 象 者	修了者	主 催
平成3年度国立大学事務長研修	平成3年10月23日 ～10月25日	国立大学の事務長で、年齢56歳以下の者のうち、各機関の長の推薦を受けて、文部省大臣官房人事課長が決定する。	附属図書館事務長 菊池 昭夫 家政学部事務長 高野 佳征	文 部 省
平成3年度関東・甲信越地区国立学校等係長研修	平成3年10月22日 ～10月25日	受講者は、原則として次の各号に該当するものとする。 ①係長又は、係長相当の職にある者。 ②年齢50才以下の者。 ③勤務成績が優秀の者。	学務課留学生係長 大澤 輝子 附属図書館情報システム係長 真野 真知子	文部省、東京水産大学及び本学
第26回関東甲信越地区国立大学等会計事務職員研修	平成3年10月21日 ～10月25日	現在会計事務に従事し、かつ1年以上会計事務の経験を有する者。	会計課出納係 加藤 誠一	文部省及び信州大学
平成3年度大学図書館職員講習会	平成3年11月11日 ～11月14日	大学等の図書館(室)において、2年以上の勤務経験を有する35才以下の中堅職員。	附属図書館情報システム係 鈴木 誠	文部省及び東京大学附属図書館
平成3年度厚生補導事務研修	平成3年11月18日 ～11月20日	国立大学教務厚生補導の職員で、係長、主任の職にある者又はこれに準ずる者。	学生課就職保健係長 平松 周二	文 部 省

名 称	実 施 日 時	対 象 者	修 了 者	主 催
平成3年度事務電算化 研修	平成3年11月12日 ～11月15日	本学職員で、所属課長、 主幹事務長又は事務室長 が推薦する者。	庶務課庶務主任 富山 弘 庶務課人事係 河野 隆 庶務課大学院係 関口 健治 庶務課庶務係 小西 由子 庶務課文書係 内山 典子 会計課総務係 松田 弘 会計課出納係 岩田 光夫 施設課設備係 八重樫 博 施設課設備係 桜井 明 学務課教務係長 柿沢 秀春 学務課専門職員 村山 正栄 学務課教務係 山本 隆 学務課留学生係 山田 毅 文教育学部総務係 永井 悟 理学部総務係 松本 陽子 附属図書館総務係 長 西原 敏雄 附属図書館情報管 理係 田村まり子 附属学校部総務係 遠藤 信子	本 学
第52回関東地区中堅係 員研修	平成3年12月4日 ～12月12日	各号に該当する者で、各 省庁から推薦され、人事 院関東事務局長が受講を みとめた者。 ア．国家公務員採用Ⅲ種 試験により採用し、概ね 8年の経験を有する者及 びⅡ種試験により採用し、 概ね3年の経験を有する 者並びにこれと同等と認 められる者。 イ．4月1日現在30歳未 満の者。 ウ．勤務成績が優秀な者。	学務課留学生係 山田 毅	人 事 院

名 称	実 施 日 時	対 象 者	修 了 者	主 催
平成3年度人事事務研修	平成3年12月4日 ～12月12日	人事事務を3年以上担当している係長、主任又は中堅職員で行政職(-)2級以上の者。ただし、満35歳以下で、この研修を受講したことがない者。	庶務課人事係 河野 隆	文 部 省

○レクリエーション行事

行 事 名	実 施 日 時	参加者数	内 容 ・ 入 賞 者	実 施 場 所
平成3年度教職員ボウリング大会	平成3年10月31日 18時～20時	60人	優 勝 高野佳征(家政)・加藤久雄(会計) 鈴木 孝(文教)・神保京子(高校) 準優勝 南 芳美(施設)・西村光範(会計) 河野 隆(庶務)・涌井豊子(庶務) 第3位 細矢治夫(理学)・田代和敏(家政) 山本直之(会計)・山野井慶子(庶務)	池袋ブラウンス ウィック
平成3年度観劇	平成3年11月9日 11月10日 11月16日 11月17日 11月23日	65人	題 名 「義経千本櫻」	国立劇場

○健康診断

事 項	実 施 日 時	対 象 者	受診者数	実 施 場 所
職員定期健康診断 (第1回)	平成3年10月17日～ 10月18日	全職員。ただし、人間ドック受診者及び遠隔地勤務者を除く。	179人	保健管理センター
V D T 検診	平成3年11月6日	コンピュータの端末装置、ワープロ等の作業従事職員に対し、特に必要と認められた者。	38人	保健管理センター
肝臓機能検査	平成3年11月14日～ 11月15日	4月1日現在満40歳以上の職員。ただし、人間ドック、特別定期健康診断受診者及び遠隔地勤務者を除く。	72人	保健管理センター
胃 の 検 査	平成3年11月14日	4月1日現在満40歳以上の職員。ただし、昨年直接2次検診と判定された者、人間ドック受診者及び妊娠中の女子職員を除く。	32人	保健管理センター 前 集団検診車
遠隔地勤務者健康診断	平成3年11月27日	理学部附属臨海実験所及び館山野外教育施設勤務者。	4人	千葉県館山保健所
職員定期健康診断 (第2回)	平成3年12月2日	全職員。ただし、前回と人間ドックの受診者及び遠隔地勤務者を除く。	22人	保健管理センター

○附属図書館オーディオコーナーの暫定開設について

平成3年11月1日から下記のとおり開設しましたのでご利用ください。

記

1. 設置機器及び台数

カセットプレーヤー	1台	VHSビデオデッキ	2台
CDプレーヤー	2台	ベータビデオデッキ	1台
マルチディスクプレーヤー	2台	8ミリビデオデッキ	1台

2. 利用時間（休館日を除く）

平日 9:00～17:00（但し資料の貸出は16:00まで）

土曜日 9:00～12:00（但し資料の貸出は11:00まで）

3. 利用手続

図書館利用者カードを閲覧カウンターに提出の上備付けの用紙に記入し、申し込むものとする。

*利用についての詳細は、附属図書館内掲示の利用取扱いをご覧ください。

（附属図書館）

日 誌

◇ 諸 会 議

- | | |
|--|---|
| <p>10月16日(水) 各学部教授会
研究科委員会</p> <p>17日(木) 関東甲越信地区国立学校等施設部課
長会議 (18日まで、埼玉大学)</p> <p>22日(火) 部局長会議</p> <p>23日(水) 評議会
入学試験委員会
学長候補者選挙管理委員会
一般教育委員会
附属学校教育研究委員会
池田摩耶子・重記念奨学金選考委員
会
総合コース小委員会
教務関係事項検討委員会 (文)</p> <p>24日(木) 入学試験委員会
学寮防火管理委員会
女子大学連盟総会
(於 大阪女子大学)
国立22大学理学部部長会議
(於 竹橋会館)
平成3年度文部省共済組合全国事務
担当者打合せ会
(於 東京医科歯科大学)</p> <p>25日(金) 第9回国立大学理学部部長会議
(於 竹橋会館)</p> <p>28日(月) 一般教育・教務合同検討委員会
保井・黒田奨学金審査委員会
日本教育大学協会関東地区連絡協議
会 (29日まで、於 山梨大学)</p> <p>30日(水) 人間文化研究科会議
学長選挙管理委員会
教務関係事項検討委員会 (文)</p> <p>11月1日(金) 事務連絡会議</p> <p>6日(水) 学長選挙管理委員会
基本計画委員会
将来構想検討委員会
日本育英会選考会</p> <p>7日(木) 授業料免除者選考会</p> | <p>7日(木) 国立15大学学長懇話会
(於 図書館情報大学)</p> <p>12日(火) 附属学校委員会</p> <p>13日(水) 教務委員会
学寮委員会
保健管理センター運営委員会
国立大学協会総会
(14日まで、学士会館)</p> <p>14日(木) 東京地区大学入試センター試験に関
する入試担当課長会議
(於 桜美林大学)</p> <p>15日(金) 外国人留学生委員会
国立大学協会事務連絡会議
(於 学士会館)</p> <p>19日(火) 部局長会議
各学部学科主任会議</p> <p>20日(水) 各学部教授会
研究科委員会</p> <p>21日(木) 日本育英会予約奨学生選考会</p> <p>22日(金) 一般教育・教務合同検討委員会</p> <p>26日(火) 部局長会議</p> <p>27日(水) 評議会
人間文化研究科会議
入学試験委員会
公開講座委員会</p> <p>29日(金) 教務委員会</p> <p>12月3日(金) 部局長会議
基本計画委員会
各学部学科主任会議</p> <p>4日(水) 各学部教授会
研究科委員会</p> <p>6日(金) 事務連絡会議
教育実習専門委員会</p> <p>9日(月) 一般教育委員会</p> <p>10日(火) 部局長会議
学生委員会
附属学校長候補者選考委員会</p> <p>11日(水) 評議会
人間文化研究科会議</p> |
|--|---|

- 12日(木) 大学入試センター試験に関する入試
担当者連絡協議
(於 昭和女子大学)
- 13日(金) 一般教育委員会
一般教育・教務合同委員会

◇行事等

- 10月16日(水) 学生部長候補者選挙
- 17日(木) } 職員定期健康診断
18日(金) }
- 19日(土) 公開講座(第4回)
- 21日(月) 平成4年度帰国子女特別選抜願書受付(11月7日まで)
関東甲信越地区国立大学等会計事務
職員研修(10月25日まで、於 信州
高遠自然の家)
- 22日(火) 関東甲信越地区国立大学等係長研修
(25日まで、於 国立婦人教育会館)
- 23日(水) 体育祭
国立大学事務長研修
(25日まで、国立教育会館)
- 26日(土) 公開講座(第5回)
- 31日(木) 教職員ボウリング大会
- 11月1日(金) 平成4年度推薦入学願書受付
(11月7日まで)
- 2日(土) 第3回大学開放の在り方に関する研
究会(於 別府市)
- 6日(水) VDT 検診
- 9日(土) } 徽音祭
10日(日) }
- 11日(月) 平成3年度大学図書館職員講習会
(14日まで)
- 12日(火) 平成3年度事務電算化研修
(15日まで)
- 13日(水) 日本育英会返還説明会
小石川寮防災訓練
附属中学校教育研究発表会
附属幼稚園願書受付
関東甲信越地区著作権講習会
(15日まで、於 静岡県庁)
- 16日(土) 公開講座
「女性と大学教育」第1回

- 17日(日) 大山寮防災訓練
- 18日(月) 平成3年度厚生補導事務研修会
(20日まで、国立オリンピック記念
青少年センター)
- 20日(水) 第1次学長候補者選挙
- 22日(金) 永年勤続者表彰式・懇談会
- 25日(月) 附属幼稚園第2次検定(28日まで)
- 27日(水) 放射線使用者に対する血液検査
公務員試験説明会
附属小学校願書受付
- 28日(木) 平成4年度推薦入学第2次選考(文)
(29日まで)
第12回大学図書館研究集会
(29日まで、於 一橋大学)
- 29日(金) 平成4年度推薦入学第2次選考(家)
- 30日(土) 附属幼稚園合格発表
平成3年度厚生補導関係教職員研究
会(12月1日まで、於 茨城県)
ビル衛生管理講習会
(於 千代田区立公会堂)
- 12月2日(月) 平成4年度推薦入学、帰国子女特別
選抜第2次選考(理)
附属小学校第1次検定
職員定期健康診断(第2次)
- 3日(火) 附属小学校第2次検定(男子)
- 4日(水) 第2次学長候補者選挙
附属小学校第2次検定(女子)
平成3年度人事事務研修(12日まで)
第52回関東地区中堅係員研修
(12日まで)
- 5日(木) 平成4年度推薦入学、帰国子女特別
選抜合格者発表
- 6日(金) 附属小学校合格発表
- 10日(火) 学位記授与式
- 13日(金) 附属中学校願書受付(14日まで)